

核兵器廃絶に向けた G7 国会議員フォーラム 声明

2023 年 4 月 29 日

私たち G7 諸国の国会議員は、G7 広島サミットが開催されるにあたり、核軍縮へのコミットメントを改めて表明する。広島は、1945 年 8 月 6 日、史上初の原爆投下により跡形もなく破壊された。この都市で 14 万の人々の命が、そして長崎では 7 万を超える人々の命が、1945 年末までに奪われた。被爆者が抱える身体上の、そして社会的また心理的な苦しみは、今日まで続いている。こうした被爆者たちの体験こそ、完全なる世界的な核軍備撤廃を求める私たちの政治課題の原点である。

核兵器が存在する限り、核戦争のリスクは時とともに高まる。北朝鮮（DPRK）によるたび重なるミサイル発射や核兵器計画の継続は、きわめて危険かつ無責任な形で核のリスクを高めている。私たちは、ロシアによるウクライナに対する違法な侵略戦争を非難する。この戦争において、核兵器に関わる受け入れがたいリスクが顕在化している。ロシアによるベラルーシに核兵器を配備しようとの計画は、こうした行動を中止し反転させ、核兵器を侵略や脅迫の道具として二度と使わせてはならないことの重要性を物語っている。すべての核兵器国が関わっている核軍備競争は、核兵器が偶発的あるいは意図的に使われるリスクを高めている。核兵器がひとたび使われれば、それは人類および地球に対して破壊的な帰結をもたらす。それゆえ、それは国際的な緊急事項として止めなければならない。

核兵器の使用や使用の威嚇をさせないための規範を強化すべく、私たちは、あらゆる核の威嚇を非難し、核兵器不使用の唯一の保証はその完全廃絶であることを再確認する。そのために、私たちは、核兵器不拡散条約（NPT）と核兵器禁止条約（TPNW）という、核兵器のない世界を達成するために決定的に重要な相互に強化しあう枠組みを強化することを誓約する。私たちは、核兵器の完全廃絶を求めた NPT 第 6 条の重要性を強調し、TPNW の包括的規定が核軍縮・不拡散体制を強化していることの重要性を、とりわけ危機が高まる今日、歓迎する。TPNW が核実験を明示的に禁止していることを補完する形で、包括的核実験禁止条約（CTBT）の規範は強化されなければならない。

諸国民の代表たる国会議員は、軍縮への支持を強め、私たちの政府が核兵器廃絶に優先的に取り組むようにするための重要な役割を負っている。私たちは、核戦争の脅威から免れ、より安全で平和な世界をつくるという共通の目標に向けて、TPNW 締約国および市民社会と協力していきたいと考えている。TPNW に未署名のすべての国は同条約の第 2 回締約国会議にオブザーバー参加すべきであり、私たちの政府は、同条約の第 6・7 条に定められた核被害者援助と環境修復の分野などにおいて締約国と協力する方法を追求すべきである。私たちは、TPNW が可能な限り早期に普遍的条約となるように、私たちの政府による同条約への署名・批准を奨励する政治的努力を強化していく。

来る広島サミットにおいて、G7 首脳は、被爆者と面会しその話を聞き、核兵器の使用が人々と環境にもたらす破壊的な影響を認識すべきである。そして、あらゆる核兵器使用の威嚇を明確に非難し、世界的な核軍縮を前進させる上での TPNW の重要性について認識すべきである。すべての国は、核兵器の完全廃絶を達成するための真摯で建設的な交渉に関わるべきである。それは、被爆者が体験してきた苦しみを、誰にも再び決して味わせないためにである。